

○発行

鳥取市立川町5丁目417番地
鳥取こども学園後援会
電話 (0857)22-4206

○振込口座

郵便振替 01490-9-9106

題字 尾崎梯之助

鳥取こども学園 学園だより



「いのち育み五十年」(式辞) ―最も大なるものは愛である―

鳥取こども学園 専務理事 松田 章 義

今日までに、二、九九四名の卒園児を送り出した鳥取こども学園の保育所「鳥取みどり園」は、このたび、記念すべき創立五十周年を迎えました。多くの皆様にご支援をいただきましたこと、改めて心より感謝し、お礼を申し上げます。

創立のあつい思い

鳥取みどり園は、初代園長の藤野とり先生が、いと小さき者への限りなき愛と、幼



児期の養育環境を整えようとの使命感をもつて尽力され、また、米人宣教師ミス・グインをはじめ、多くの支援者の志が集まって、一九五一年(昭和二六)の四月、定員五十名の保育所として誕生しました。その保育目標は「キリスト教精神に基づき、心身ともに健康で、豊かな人間性を持った子どもの育成」をめざすものでした。

社会の進展・変化にとめない、乳児保育が求められるようになり、一九六九年(昭和四四)に三歳未満児の施設を増設し、産休明け保育を始めました。〇歳から六歳までの乳幼児を保育する、定員一五〇名の大規模園となりました。

時代は昭和から平成に移り、創立当初の園舎が老朽化したため改築工事を行い、一九九〇年(平成二)、新園舎が完成しました。この年、保育所保育指針の改訂を受けて、本園でも保育内容と方法などの大幅な見直しを進めました。

保育内容の充実

特に、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、その主体性を培う保育に鋭意取り組みました。

なかでも、県内では先見的なところみである三歳から五歳児の異年齢の組織編成によ

る保育、名づけて「たて・よこ保育」を実施し、高い評価を得ております。また、子どもの人権を守る観点から、個々の良さを認め、その豊かな能力と可能性を最大限に引き出す「いいこと、見つけ」等の保育に努めています。

さらに、近隣の中学・高校の生徒の体験的保育実習を受入れるとともに、子育て中の親子に施設を提供し、遊びと交わりと学びの輪を広げ、みんなで子育てをサポートする「地域子育て支援」の活動も先駆的に行っています。

このように、社会福祉法人・鳥取こども学園は、鳥取みどり園をはじめ、五つの児童福祉施設を併設し、〇歳から二十歳までの子どもの成長と自立を援助する総合的ケア・センターに発展しました。

二十一世紀に向けて

いま、二十一世紀の課題の一つは「福祉と教育と医療の統合化」であると言われております。わたしたちは、その三つの分野の専門スタッフが互いに連携・協力し、子どもたちにとって最善の保育と処遇に努めることが求められています。

今後、職員一同は、鳥取こども学園の創立者、尾崎信太郎翁の座右の銘「信仰と希望と愛は、いつまでも残る。その中で最も大なるものは、愛である」の聖書のことばを胸に刻み、一層職務に励む所存です。最後に、本園発展のためにご協力いただきました皆様、重ねて感謝しますとともに、一層のご支援をお願い申し上げます。

鳥取みどり園

創立五十周年を迎えて

— 事業報告と抱負 —

鳥取みどり園 園長 入江 一枝

一九五一年(昭二十六)四月に児童福祉施設の認可を受けて「鳥取みどり園」が定員五十名でスタートしました。

創立以来五十年、ひたすら子ども達の健やかな成長と幸せを願い、社会人としての素地づくりのための保育内容の創造向上に、また数々の施設整備の充実に、ご尽力下さいました先輩諸氏、保護者会そして地域の皆様に敬意を表すると共に感謝する次第でございます。

創立五十周年の記念事業として、記念式典の挙行
記念史の発行
記念植樹
の三つを定め、進めて参りました

一、記念式典

去る十一月十一日(土)鳥取こども学園体育館において、鳥取市長をはじめ大勢の皆様にご臨席いただき、盛会裡に終えることができ、職員一同心より感謝しております。

また、アトラクションとして、当園の年中・年長児が、銭太鼓・鼓隊演奏で式典に華を添えてくれました。最後

に、今なお歌いつがれている、久利溪子氏作詞による「みどり園歌」をみんなで斉唱し、なごやかな雰囲気の中、に式典を終えることが出来たことも感謝です。

二、記念史の発行

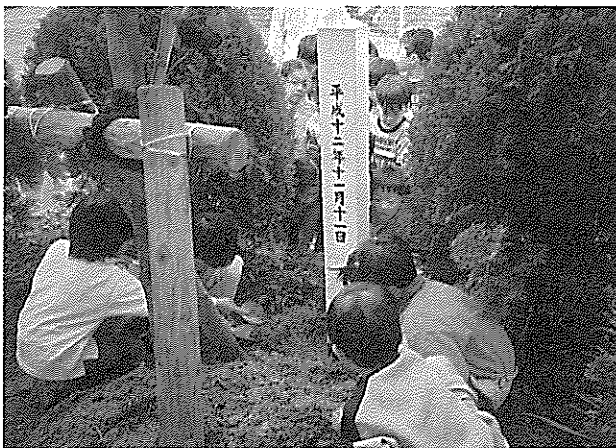
記念史「小さな思い出」は、卒園児、旧保護者会長、旧職員など多くの方々に資料提供並びに寄稿していただくなど、出来るだけ五十年の歩みを網羅するよう努めて参りました。

三、記念植樹

園庭にドングリの木を中心に、花みずきなど十九本植樹しました。この植樹によって、園全体が「みどり園」の名前にふさわしく、一層緑豊かな環境になり、子ども達の活動がより豊かに、楽しいものになると思っております。

これからも多様なニーズに対応できる地域に開かれた子育て支援センターとして邁進するため、職員チームワークとともに、家庭や地域の皆様と心のふれあう温かい支え合いの中で、未来を担って立つ「心身ともに健康で、豊かな人間性をもった子ども」の育成をめざし、新たな気持ちで、更なる歩みを刻むよう、努力を重ねて参りたいと思います。

関係者の皆様の変わらぬご指導、ご支援を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。



記念植樹

行事

(学園関係)

- 7月8日 Jリーグ公式戦招待(バードスタジアム)：春歌秋灯
- 21日 サムシングエルズコンサート招待(県民文化会館)：日本海テレビ
- 25～29日 鳥取県児童養護施設合同キャンプ(砂丘こどもの国)
- 31日 鳥取県児童入所施設球技大会(泊村)
- 8月4～5日 希望館キャンプ(若桜町・氷ノ山キャンプ場)
- 4～6日 鳥取学生赤十字奉仕団キャンプ(小沢見海水浴場)
- 14日 OB会・焼肉パーティー
- 19～21日 全国児童養護施設高校生交流会東京大会(国立オリンピック記念青少年総合センター)
- 20日 鳥取県ジュニアオーケストラ演奏会招待(県民文化会館)
- …鳥取県オーケストラ連盟
- 22～23日 里親キャンプ(若桜町・氷ノ山キャンプ場)

児童養護施設

「鳥取こども学園」

今回は、一つの建物の中に二つのホームが入っている、ふじホーム、ひまわりホームを紹介します。子ども達の居室は、学園で一番古いものになってしまいました。二つのホームは食堂でつながっており、絶えず賑やかな声が聞こえてきます。そんな中で、つぶやかれた子ども達の「夢」を紹介します。

＊私の将来の夢

ひまわりホーム

M・K

私が、今まで考えていた将来の夢は、保育士になることです。なぜ、保育士になると思うたかは、学園の先生を見ていて思い始めました。先生は、いつでもやさしい先生です。だから、私は、そんなやさしい先生がとても大好きです。

ホームの中では、高校生や小・中学生だけで生活しているわけはありません。二・三才の小さい子どもと一緒に生活しているので、とても大変な仕事です。

でも、私は小さい子が大好きだし、大変なことがあっても、がんばってやったりできると思います。

私は、将来にむけてよく先生たちの手伝いをします。夕食の時の準備をしたり、小さい子と一緒に遊んだりもします。いつもできるわけではないけど、そんな毎日がとても楽しいです。朝、学校に行くときや、学校から帰ってきた時にやさしく「お帰り」「いってらっしゃい」などとあたりまえのようにかわすあいさつも、とても気持ちがいいです。

私は、将来に向けて一生けん命に、自分のいけない点を直したり、反対に、いい点を大切にしてすごしています。だから、これからも夢を大切に、みんなとすごしたいし、すてきな夢をかなえてみたいです。



＊ぼくの・わたしのゆめ

ふじホーム

(七才・男)

ぼくは、おとなになったら、じてんしゃやさんになりたいです。かつこいいじてんしゃがつくりたいです。

(七才・女)

わたしが大きくなったら、かんごふさんになりたいです。かんごふさんになって、えらい人をたすけたいです。やさしいかんごふさんになりたいです。

(四才・男)

ぼくは、おまわりさんになりたいです。パトカーのつてみたいからです。どろぼうをたいほします。

(四才・女)

わたしは、おお

きくなったら、う

さぎになりたいで

す。かわいいうさ

ぎになって、こう

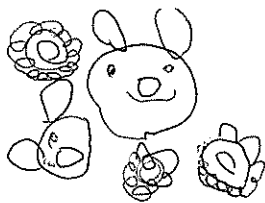
えんへいってきま

す。

(五才・男)

ぼくは、おおきくなったらガソリンスタンドのひとになりたいです。

じぶんでじどうしゃにガソリンをいれたいです。



22～23日 中国地区児童養護施設児

童球技大会(広島県・千代田

スポーツパーク)

27日 マスクフレイミュージカル

「きんたろうの鬼たいじ」招

待(鳥取市民会館)・劇団飛行船

10月10日 希望館通所部門・ミニミニ運

動会

11日 四施設合同防災訓練

14日 鳥取県児童養護施設調理実習

(さざんか会館)

高橋明山津軽三味線コンサート

ト(鳥取市文化ホール)・鳥

取中央ライオンズクラブ

22日 劇団カッパ座・なないろのに

じ・招待(県民文化会館)・

鳥取カッパ友の会

27日 希望館通所部門・秋の遠足

(福部村・谷口果実園)

28日 児童ふれあいのつどい(砂丘

こどもの国)

28～29日 里親月間・一日里親

化会館)

18日 Jリーグ公式戦招待(バード

スタジアム)・関彰商事株式

会社

23日 第33回ミュージックフェスティ

バル・鳥取学生赤十字奉仕団

鳥取子ども学園 「希望館」

男子ホーム(わかば・こぼとホーム)は、昨年度後半から今年度に向け、小学生の入所が相次ぎ、小学生達のにぎやかな声が聞かれるようになりました。

今回は、わかば・こぼとのホーム行事の感想と、最近フレンドに移った子ども入所してからの感想を紹介します。

わしゅぎんに行ってきたよ

五年 T・O

十一月三日金曜日に、わしゅぎんに行きました。ぼくは、行く前ちよっとドキドキしました。ついたとき、ぼくはゆめを見ているようで、楽しかったです。

まず最初に、昼食を食べて、それから遊びました。最初にのったのり物は、ジェットコースターです。最初はおもしろそうでしたが、まさかさまにおちるようなスピードでおりたので、ぼくもこれにはビビリ、足がガタガタふるえました。

つきに行ったのが、おぼけやしき。あれは、はぐりょくがあつておもしろかったです。

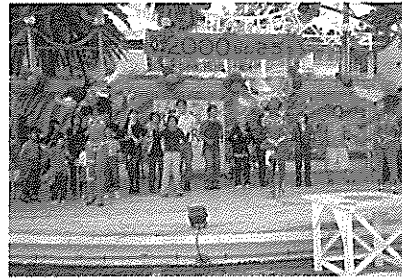
つきは、ゲームセンターでした。でも、すぐコインがなくなったので、ちよっと

つまなかつたなあーと思いました。そして、ちよこわくて、きれいだったのが、レールの上をはしるじてん車でした。ぼくは、あまりのこわさに

「うわあー、ちよこわい。」
「うわあー、すこいながめたな。」
「うわあー、すこいながめたな。」
「うわあー、すこいながめたな。」

「うわあー、すこいながめたな。」
「うわあー、すこいながめたな。」
「うわあー、すこいながめたな。」
「うわあー、すこいながめたな。」

「うわあー、すこいながめたな。」
「うわあー、すこいながめたな。」
「うわあー、すこいながめたな。」
「うわあー、すこいながめたな。」



自分にとつての施設

高卒年齢 K・N

希望館に入所して、早くも二年八月が過ぎ去るつとして。現在、フレンドに移って一週間たつ。入所当時、僕はそれなりに期待をもっていた。実際、施設に入る気があり、自分を変えられる気

がしていた。施設での生活は、狭い空間の中で、見ず知らずの人間が何人もひめきあっているわけで、それなりに色々な事があった。つらい事、悲しい事、うれしい事、様々。自分自身いろいろな面で『大人』になったと思う。『つらい事』があると人は成長する、とかいうけど(そのつらい事に感謝しようなどとはみじんも思わないが)、人とのつきあいがやはり大事ではないだろうか。『大事』というより、『気をつけなければいけない』だろう。力の強い者は、自分で正しいと思つているのかもしれないが、回りが批判的に見ているものも少ない。ここでは、人のつきあい方をいろいろと学んだ。

ここは、食生活が豊かでお腹がすいた経験はほとんどない。炊事の人には感謝している。小遣いが五千円というもの、すごくいい。しかし、空間が狭い。施設だから当たり前かもしれない。ホテルでもアパートでもないと言われたが。

ここでのいろいろを経験できてよかった。つらい事があつても、最後によかったといえる気持ちが大事だと思う。探せばいくらでもいい事はあつただから。施設というのは有難いものだと思う。実際、本当に助かった。感謝している。いろいろあると思うけど、先生方には子どもたちのために頑張つてほしい。

「みどり園関係」

6月4日 鳥取みどり園バザー

12日 子育て支援センター「育児講座」講師 大雲院住職 田尻

光昭氏

18日 私立保育園保護者会連合行事(ソフトバレーボール)

24日 参観日(参観&座談会)

30日 JR七夕まつり(年長児参加)

7月1〜2日 鳥取

市子育て

フェステ

イバル

7日 七夕まつ

り

11日 プール開

き

13日 「六歳白

歯健康講座」
講師 今田歯科医院院長

今田哲哉氏

17〜18日 個別懇

談会

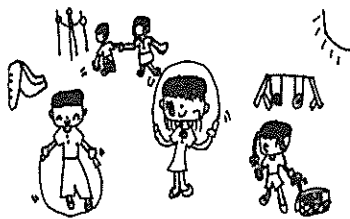
25日 卒園生のつ

どい(参加

者67名)

30日 仕事会(保

護者会主催)



保育所「鳥取みどり園」

楽しかった
感謝祭

「みんなで作ったさつまつま汁」

鳥取みどり園 保育士 栗本悦子

去る十一月二十一日に、毎年恒例の感謝祭が行われました。前日の朝、「大根収穫ゴーゴー!!」と、元気なかけ声をあげて畑へ大根を掘りに行く年長児たち。八月の終わりに、三・四・五歳児全員で一粒ずつ丁寧に播いた大根の種。毎日の水やりと天候に恵まれ、りっぱに成長したのです。「アツ、大根!! すこーい。」「ひげがはえとる。」(この日は今にも雨が降りそうで、年長児のみの大根掘りとなりました。)翌日、全員で力を合わせてさつまつま汁作りをしました。持ち寄った材料をせっせと洗う三歳児。慎重に皮をむく四歳児。そして包丁を持ち、材料を細かく切っていく五歳児。包丁を持つ子ども達の顔は、どの子も真剣な表情。園庭にカマドを用意し、大鍋二つで全員分のさつまつま汁作り。皆が家庭より持ち寄ったものを大鍋一杯に入れ、グツグツ炊くのは私達の役目。感謝祭・誕生会がすすんでいくうちに、さつまつま汁も美味しく出来上がりました。切り方は少々荒くても、トクトロによく煮えた野菜たち。

日頃、野菜の苦手な子ども達も、自分で力を合わせて作ったさつまつま汁に舌つづみ。片付けを終えて保育室に入ったとたん、「ありがとう。」「お帰り先生、おしかったよ。」のひまわり組(二歳児)の子ども達の出迎えの優しい言葉に、疲れも吹き飛び、思わず抱きしめていました。翌日は、持ち寄った果物・大根を抱え、日頃よりお世話になっている園医・消防署・交番など、八か所へ交通安全部の方々に手伝いして頂きながら三歳以上児全員で届けに出かけました。
この感謝祭を通して、豊かな自然の恵みを与えられている事に気づき、また多くの方々に守られている事を感謝する事が出来たのではないかと感じます。

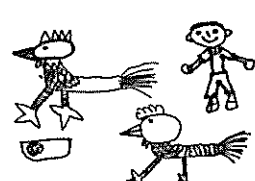


わくわく子育て
支援センター

出会い・くこる会(場として)
指導者 宮脇知津子

四年目を迎えた当センターは、二か月の赤ちゃんから四歳の誕生を迎えた友だち(親子)と連日、賑わっています。一日に15組から日によっては25組以上の多くの方々に御利用頂いております。特に、現在一人っ子のお子さんは家ではできない子ども同士の交わり(赤ちゃんに微笑みかけたり、子ども同士で通じる声かけをしたり、時にトラブル発生で争ったり...)ができ、関わり合う喜びや自分の思い通りにならないこと等、たくさん体験しておられる所です。また、お母さんたちの間では子育ての悩み相談や、育児のコツの伝授し合いがなされたりして和気あいあい……。親子共に仲よしの輪ができてつつある様子を、喜ばしく見守らせていただいています。
これからも、まずは「思いっきり自分を出せる子であること」を大切に、お家の方々と一緒に、突然「切れる子」にならないよう、決して見た目の「よい子」を育てないよう知恵を出し合っていくことができたら...と切に願っております。

- 8月5日 納涼祭(保護者会主催)
- 23日 プール納め
- 24日 子育て支援センター「育児講座」講師 鳥取みどり園 養士 山本真由美氏
- 25日 交通安全教室(保護者会主催)
- 9月12日 おいしいちゃん・おばあちゃんとのふれあいのつどい(鹿野そば道場)
- 15日 修立地区敬老会アトラクションに年長児が出演
- 24日 運動会
- 27日~10月18日 保育実習(鳥取東高 2年生全員 396名)
- 10月20日 親子遠足(雨天のため鳥取みどり園・こども学園体育館で実施)
- 11月11日 創立50周年記念式典
- 21日 感謝祭
- 24日 子育て支援センター「育児講座」講師 にこにこ 家庭文庫 主宰 奥村睦美氏
- 29日 施設訪問(高草あすなるへ 年長児が訪問)



平成12年度相談件数表 (4月～9月)

	今月までの累計			計
	電話	来所	訪問	
養護相談	1(1)			1(1)
虐待相談	5(8)			5(8)
保健相談				
心身障害相談	1(1)	12(17)		13(18)
非行相談				
性格	10(11)	12(22)		22(33)
不登校	9(10)	5(5)	6(9)	20(24)
適性	3(3)	29(30)		32(33)
しつけ	6(6)	10(10)		16(16)
いじめ				
その他	11(13)			11(13)
計	46(53)	68(84)	6(9)	120(146)

()内は延べ件数

「子ども家庭支援センター」希望館

「子ども家庭支援センター」希望館が開設されて一年が経ちました。

当センターは、児童養護施設、情短施設、自立援助ホーム、保育園、子育て支援センター等と併設されたメリットを活かし、より地域に密着した相談窓口を目指してきました。また、携帯電話を利用して二十四時間対応可能な体制をとつてきました。

当センターの主な活動内容は、電話、外来、訪問からなる相談、支援活動と各関係機関との定期的な連絡会などです。

また、今年三月に設立された民間団体

「子ども虐待防止ネットワーク」の鳥取県事務局長、県の補助事業で十一月に立ち上げられた県内五つの児

童養護施設と二つの母子生活支援施設をインターネットでつなぐ「鳥取県子育てSOS支援ネットワーク」の事務局が設置されることになりました。これにより更なる情報収集が可能になり、幅広い相談、支援活動がおこなえるようになりました。

実際に当センターへ寄せられた相談件数、内容につきましては、上記の表を参考にご覧ください。なお、電話相談の中には、夜間に携帯電話で受けた相談が十件含まれています。様々な相談を受けるにあたり、センターの中だけで処理するのではなく、各施設の方に協力していただき、より適切な対応ができるようになっています。

最近、毎日のように少年事件や児童虐待が報じられ、残念なことに、今年に入つて県内でも虐待による死亡事件が二件起こつてしまいました。しかし、これらは氷山の一角でしかありません。それを大前提に、多くの方に、どんな小さな相談でも「あそこに相談すればなんとかなる」と思っていただけのような、地域に密着した相談機関を目指していきたいと思えます。開設から一年、これからも子ども家庭支援センター「希望館」をよろしくお願ひします。電話〇八五七二七四一五三・FAX〇八五七二七一

自立援助ホーム

「鳥取フレンズ」

平成十二年度は、在籍十一名でスタートし、現在は、十名となっております。最近になって職場の寮に引越した子もいます。

県内の児童養護施設を退所後、一度はアパート自立をしたが、仕事が続かず、借金だけがふえて、生活をたて直すため入ってきた少年は、まず借金返済を目標にし、決めた仕事を続ける覚悟で入りま

した。これまでは、仕事が決まっていき始めても、職場で叱られると次の日から行けなくなったりしていたらしいのですが、ここでは、自室にいても起こされるせいか、休みながらも、なんとか同じ職場につくことができている。何度か「失業するのではないか」という危機を感じましたが、職場の方が引っぱって下さったり、本人も何日も休みの続いた後「これでは給料がない」と思い直し復帰したり、本当に何とかつながって現在に至っています。今でも毎日のように「また叱られた。オレだけ。」と話します。

昨年少年院を退院後、引受人がいなくて、このホームに入ってきた少年は、当時十五才でした。早くお金を貯めてここ

を出たいし、自動二輪の免許もほしいと思っていて、建設関係の現場の仕事に就きました。保護観察委託中だったので、委託費を寮費に当て、本人から徴収する寮費を貯金にまわしました。自立のための資金のつもりでしたが、結局自動二輪の免許を取得するための教習の費用になりました。もう少しで教習所を卒業するところになって、一年教が月続けしていた職場を辞め転職し、その職場の寮に入ることにして、ここを出ました。この春十七才になっていきます。時々、電話をします。

寮生は、ホームの生活では、「共同生活」ということで、いろんな摩擦を感じたりしながら過しているのだと思います。細かくケアすることのできない現状ですが、「ダメな事はダメ」というところを示しつつ、それぞれがたくさんの経験をしていく場としたいと思っています。自立援助ホームとして、どう関わっていくことが必要か、未だ模索中です。今後とも温かく見守って下さいますようお願いいたします。



鳥取こども学園 第三児童棟 改修工事実施

児童養護施設の第三児童棟及び管理棟は、築後二十年目を迎え、特に第三児童棟のいたみが目立ち、子どもたちの情緒の安定をはかるためにも、改修が必要となりました。児童棟部分を中心にして、渡り廊下・管理棟の一部も含む改修工事を実施し、子どもたちがより快適に過ごせるよう考えて、十一月一日より工事にかかりました。総事業費、約一千万円のうち、県の補助金、約八十三万円弱、自己資金、一二十五万円弱の予算で取り組んでいます。

入所児童は、しばらくの間、宿を移したり、不自由な生活を強いられるのがかなりな工事となりましたが、児童棟の方は、ほぼ終了となり、管理棟を含めて十二月八日頃には、完了する予定となっています。児童棟は、上下二つのホームを独立させた形に変え、破損箇所も修理し、床を木製のフローリングに変えたり、壁紙も柔らかな雰囲気のものに変え、よりアットホームな感じの建物に改修され、子どもたちも喜んでいきます。

当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、及び後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は下記のとおりです。心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄 付 者 (2000.6.1 ~ 2000.11.30)

(敬称略)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
(財)鳥取県労働者福祉協議会	神 崎 益 子	鳥 取 教 会 睦 会	町 田 雅 美
明 穂 整 形 外 科	桔 梗 真 木 子	中 井 英 治	松 田 章 宏
穴 井 篤 子	岸 律 子	中 西 敏	松 田 悦 子
有 本 末 子	岸 田 洋 子	中 村 愛 子	松 田 晃 幸
石 河 ひ ろ み	日 下 部 恵 子	中 村 千 賀 子	松 田 弘 子
市 川 吉 辰	桑 畑 直 子	西 尾 邑 次	松谷ポンプ株式会社
市 谷 経 哉	幸 本 文 男	西 尾 瑠 璃 子	松 原 千 恵 子
市 谷 成 子	山陰予防医学研究所	西 村 建 次	松 本 力 雄
伊 藤 禮 子	鳥取教会 シオン会	浜 田 素 子	三 上 晃 子
奥 羽 徳 行	鳥取チャリティバレー会 実行委員会	鳥 取 教 会 ハンナ会	三 上 博 子
大 北 美 津 子	柴 田 満	東 原 克 美	三 木 康 二
大 久 保 幸 子	柴 田 淳 子	日立金属労働組合鳥取支部	村 尾 栄 子
岡 田 順 子	杉 本 淳 子	ヒ ュ ッ テ 白 樺	村 田 志 津 子
岡 田 素 子	砂 川 真 理	平 野 正 子	森 原 和 枝
奥 田 愛 子	大 雲 院 子 供 夜 店	福 士 久 美 子	森 本 多 恵 美
尾 崎 誠 太 郎	高 取 和 子	藤 岡 知 夫	森 脇 み つ え
尾 崎 せ つ 子	竹 田 義 男	藤 本 奎 吾	八 尾 た き 子
尾 崎 三 智 子	竹 田 江 海 子	分 銅 晶 子	ヤ ス イ エ イ ジ
尾 崎 良 一	谷 詰 万 寿 子	本 城 具 子	山 根 和 典 子
表 重 美 子	田 畑 幸 子	巻 田 豊 子	山 本 伸 子
川 北 仁 子	常 松 佐 代 子	政 田 淑 子	山 本 信 夫
川 口 佐 七	豊 島 道 子	政 田 淑 子	由 井 哲 夫
川島成道演奏会実行委員会	道 祖 尾 博 子	真 嶋 千 鶴	ヨ ネ ザ ワ マ コ ト
	徳 田 未 和 子	町 田 富 司	無 名 氏

以上108件、総額2,318,104円の後援会費・寄付金が寄せられました。心より感謝申し上げます。
4月からの累計では121件3,286,002円になります

物品寄付者 (2000.6.1~2000.11.30)

(敬称略)

氏名	氏名	氏名	氏名
山中靴店株式会社	奥山 義政	下石 洋子	鳥取県クリーニング組合
アイスクリーム協会	上原 登代子	久利 溪子	環境衛生同業組合
日香寺	束原 克美	猪口 吉野	ドナルド・マクドナルド・ハウスチャリティーズ・ジャパン・テン・クラブ
松山 はる系	資生 堂	澤田 辰子	修立地区老人クラブ
鳥取県醤油工業協同組合	岸本 昌子	中野 嘉子	川島成道演奏会実行委員会
立川郵便局	東京三菱銀行	湯村 正仁	大樹寺
NTT労働組合	幸本 文男	山根 利予	ヘアサロン山田
片山 弘子	東中校区心豊かる会	鳥取鮮魚仲買人組合	旭学園
森本 政司	松岡 高広	社団法人電池工業会	奥山 恵
浦木 子	松田 章義	修立小学校	井崎 一
鶴見 厚子	松村 文雄	J A 鳥取県青壮年連盟	前土居 名
山本 秀樹	長戸 紀子	委員会 野田年仁	無名
一柳 賢史	高倉 ちか江	鳥取市老人クラブ連合会	
		松 下	



**鳥取こども学園
同窓会のご案内**

毎年、盆の八月十四日と正月の一月二日の夕方六時半に学園の地域交流ホールで、同窓会を行っています。

平成十二年の八月の同窓会には、約四十名のOB達が集まりました。何十年ぶりという方も、すぐ打ち溶けてくださいました。世代に関係なく、親睦を深めてゆきたいものと思えます。

OBの方々、旧職員の方々、声をかけ合って、気軽に参加して下さい。

「鳥取こども学園後援会」加入と会費納入のお願い

鳥取こども学園の事業は、言うまでもなく「民間社会事業」です。「制度」も何もないところから出発した創立当初の困難を想い、民間社会事業の先駆性・献身性を受け継ぎたいと思います。公的な制度と資金だけでは到底足りません。

「鳥取こども学園後援会」加入と会費納入をお願いします。

1. 「鳥取こども学園後援会」へご入会下さい。
2. 地域、職域でできるだけ友人・知人に呼びかけて下さい。
3. 個人でも団体でも、会社や法人でも加入出来ます。
4. 年会費は、個人1口3,000円、団体・法人1口10,000円で、1口以上何口でも結構です。

会費・寄付金は下記へ

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内
☎(0857)22-4206・21-9551 FAX23-0242

振込み口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎良一

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取東支店 普通 2124157
鳥取銀行本店 普通 7645611

お 願 い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設の様子やご寄付等を報告する意味で発刊し、お送りしています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考えてのことです。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。